

第23号

国立市富士見台1-1-201

村田 亘 75-2020

印刷

真美巧芸 37-2536

支部旗の下に集れ!

— 学員の結束更に堅く —



中央大学学員会国立支部

幹事長 堀田 勲

平成二年十一月十八日、母校多摩校舎において、学員相互のヒューマンネットワークを広げることが目的とする「ホームカミングデー」が開催されました。我が国立支部からは能味、山崎両副支部長と私堀田が参加いたしました。

豊田駅で待ち合せ、バスに乗ること約二十分、秋の色濃い多摩丘陵に建つ多摩校舎に到着、関係者の誘導でセレモニー会場である9号館へ、会場に入ると見るとすでにセレモニーは進行中でありました。会場には多数のOBが詰めかけ松身雄吉理事長室室長の司会のもと、リラックスした雰囲気の中で進行していった。挨拶に立った山本清二郎理

事長ならびに高木友之助総長は、二十一世紀に向けての大学の進むべき基本的な方針等について話された。

この後、親子三代中大で学んだ家族五組と最高齢の出席者ならびに遠隔地からの参加者二人が特別表彰を受け表彰状と記念品を高木総長から贈られた。

式典終了後、全日本大学で四年連続金賞受賞に輝く吹奏楽部のすばらしい演奏と我が青春時代、文化祭などで神田の講堂で聴いた「スイングクリスタル」の軽快な演奏を聴いた。良く知っているスタン・ドナンパーも多く思わずリズムにあわせて身体も動いてしまいました。

引き続き会場を第二体育館



左から山崎副支部長、堀田幹事長、能味副支部長

アリーナに変えて懇親パーティに移った。我が支部にも何度かおいでいただいた長沼末広学員会事務局長の司会で先ず堂野達也学員会会長の挨拶の後、二つの樽酒の鏡割りが行われ、高木総長の乾杯の音頭で開宴となった。この日のアトラクションは八王子の郷土芸能「車人形」の上演であり、腰掛車に乗って人形をあらゆる珍しい伝統芸能であった。ただじっくりアトラクションを見る人も少なく、広い会場のあちこちには大きい輪、小さい輪がいくつも出来、旧友との再会を喜び又面識のない人同志が「どちらからいらつしやいましたか」、「北海道からです」、「遠くからご苦労さまです」とか、すぐうちとけてしまうのです。人の声がよく聴えなくて又大きな声を

出してしまおうという具合でそれはもう大変でした。宴の途中で全国学員会百三十五支部の支部旗が今回新調され、我が国立支部の支部旗も三人で受け取りました。帰りのバスの中でもまだまだにぎやかで、知らない人どうしが「これからバスで広島へ帰ります」とか、「出張で来た時は是非お立寄り下さい」とか又「二才違いで高齢者の表彰を受けられなかった」と残念がる元気な大先輩とか大変楽しい一日でありました。同志とはなんとすばらしいものでしょうか。

総長に高木学長選任

平成二年十一月五日開催の理事会は、高木友之助文学部教授を総長に選任した。総長は、昭和四十三年当時の升本喜兵衛総長が辞任して以来、二十三年間近く空席のままとなっていた。

中央大学では、寄附行為の定めにより、大学には、学長を置き、経営の最高責任者として、理事長を定め、学校法人中央大学が設置する学校、その他学術研究機関を総括統理する者として「総長」を置いている。

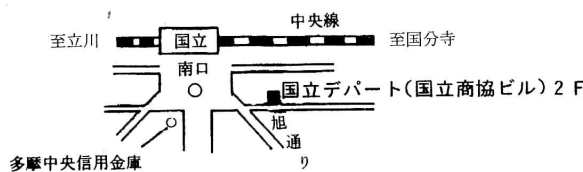
総会のご案内

下記により第14回定時総会を開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さるようご案内申し上げます。

なお、会場等の都合上、同封のハガキを5月11日(土)までに必ずご返送方よろしく願いたします。

記

1. 日時 5月19日(日)午後3時までにご参集のこと
2. 場所 国立デパート2階(国立商協ビル)
3. 懇親会費 4,000円当日ご持参下さい。



南欧紀行

(その一)

中央大学学員会国立支部
副支部長 山崎 武

(平成二年十一月二十五日から
十二月四日まで)

ギリシャの表情

いつかは、西洋文明の発祥地、ギリシャを探訪したい。そこにはパルテノン神殿があり、西洋哲学の開祖ソクラテスの遺跡もある筈だ、と考えていた。

エーゲ海を嵐に巻込んだ、スパルタとアテネの戦争、アテネは勝利したが、アレクサンダー大王の征服によって、ギリシャは滅亡の到来となる。ギリシャの中心がアテネだ。大王が死亡することによって、ギリシャは復興するのだが、こんどは隣国トルコの侵入征服により、ギリシャは滅亡することになる。パルテノン神殿もこの時被害を受ける。時勢の流れにより、再興を果すが、悲運にも伊太利ムッソリーニの襲撃を受けて壊滅に見舞われる。

こうして二千年以上も戦争を繰り返して「国破れて山河ある」も異民族の支配下に置かれたが、第二次世界大戦後、内戦を鎮めて立憲共和国を樹立し、ようやく独立を果たした。

そのギリシャだが、現在の表情はどんなだろうか。イラク軍と多国籍軍が対峙してパルテノン神殿は波高く、戦雲急を告げている。

平成二年十一月二十五日、午前

十時、成田空港を飛立った、フィンランド航空九一五型機は、乗員乗客四百余名塔乗で、日本列島を北上し、千島列島東部を高度一万二千米(機内放送)で飛行を続け、ベリング海上空に達した頃、機下の雲は夕焼けに染って美しい。

それから数時間過ぎて「只今、北極点上空を通過中、高度八千米、機外は零下四十度」の機内放送だが、窓外は暗黒の世界だから見るべき物は皆無である。この年、六月二十八日北欧旅行のため同機同時点で同所を通過した時は、白夜であったから、見事な北極点を見ることが出来たのだが……

何時間仮眠したのだろうか。北欧の郊外にある飛行場へ着陸したとき、降雪中で銀世界だった。(東京との時差約七時間、塔乗時間約十五時間)。

そこに待ちうけていたAY七七三型機(中型)に乗り換え、東南に向って三時間飛行すると、着陸したのはギリシャではなく、トルコ国のイスタンブール空港であったから、ビックリした。

隣りは、全世界人が注目しているイラク国やクエートだ。早くギリシャへ行きたい。戦争に巻き込まれるのは、ごめんだ。ハヤル心を抑えて、着陸目的をスチューワーズに聞くと「目下給油・給水・食糧品の積込み中」とのことである。

腰を落着け、トランプでもしようかと思索し、入れ違いに入ってきたスチューワーズに「エクスキューズミー トランプ、ギブミー プリーズ」と云ったが、全然通じない。トランプや花札の切り方をお手ふきを持って来たから、回りに居た人達が大笑いした。次いで「カード プリーズ」と云ったらトランプ二個を持ってきた。考えをみたら、この塔乗機は、国際機でなく、国内機だったのだ。

機は、滑走路をガタガタ滑り出し、急上昇を始め水平飛行になって一時間程でアテネ空港に着陸。バスに乗って三十分、ブレジネントホテルに入った。ホテルは、二百年前に造られた二十階建ての自室は十二階、エレベーターは各階止まり、ドアは手動式だから、遅まったら素早く開閉しないと手遅れになる。いつ頃造られた機械なのか「三菱電機製」のプレートが張ってあった。

鏡のようなエーゲ海

観光第二日は、十一月二十六日快晴無風、午前七時三十分観光バスでホテルを出発、窓外に密柑の並木を見ながら、ピレウス港に到着し、待ち受けていた約一万三千人白亜三層の遊覧船に乗り込んだ。これが、エーゲ海クルーズのはじまりである。

ドラの音を鳴らし鏡のような海に白い航跡を残しながら、エギナ島に向って出発した。甲板に出ると潮風が薫り、東京の初夏を思わせる。

四圍の風景を楽しんだり、カメラやビデオにポーズをとったり、アイスクリームをなめたり、室内に入りパチンコで遊んだりだが、同行の一人が手を動かす度に、硬貨がザラザラ出て来る。「大分儲かった」と云って、ビールやジュースを船内の売店から持って来て仲間の人に配ったが、話に花が咲いて笑いが絶えなかった。

再び、甲板に出てピレウス港の方を顧りみると、丘の上に白いパルテノン神殿が見えた。神は、海洋の平和と安全を見守っているかのようにだった。

エギナ島の港には、漁船十数隻が浮かび、陸上には、幌馬車が十輛ぐらゐ客待ち顔に並んでいた。下船すると、島の露店は、ピスタチオというナッツや、この島で出来たコップ水差しなど形も色もユニークでバラエティに富んでいる。店番の男は、五十歳がらみで顔中ひげだらけの笑顔で客引をする。ミルミン(蟻)人だと云う一時間半露店や店舗をヒヤカしたり、土産物や絵はがきを買ったり、カメラやビデオにポーズをとったりした。

この島は、エーゲ海商業の中心地で、中世の遺跡も多く、ギリシャの首都とされてきたこともあったというが、今は、別荘地に最適ではないだろうか。



パルテノン神殿(ギリシャ)

次の見学地は、ポロス島である。船で一時間半ほど南下した。この島は、レモンとオリブの林が多い。理想的なリゾート島である。建物も、二階建て三階建て全部白亜で屋根瓦は薄茶色に統一されている。だが、各戸は岩場を背景とし、一軒ごとに高さや形に個性をもたせて美しい。

数百戸が緑の山を背景に建ち並んでいて、上陸しないで次の島イドラ島へ向った。

指に副つて白亜の二階か、三階建の洋館が建並んでいる。指先は山頂に向って次第に標高を上げてゆくが、十五、六段はある。山頂附近は、闊葉樹が茂っていた。この島の交通機関は、ロバだけである。島陰に古い大砲が備え付けられていた。上陸して通路に並ぶ店々をのぞいたり、教会を見物したり、土産物を買ったりした。

エーゲ海が、夕焼けに染まるころ乗船して帰路に就く。カモメが追いかけて来るが、夕陽を浴びた島々は美しく、イラクやクエートなどの動向は念頭になかった。ピレウス港のレストランでシーフードの夕食を楽しんでから、観光バスでブレジネントホテルへ帰り着いた。

第三日目のハイライトは、パルテノン神殿の見学である。観光バスは、午前七時三十分、ホテルを出発して、ギリシャ大統領官邸正門前に停車した。官邸は闊葉樹に覆われ、昼なお暗い感じである。門の脇に白いボックスがあり、近衛兵が立番勤務をしていた。赤丸帽子に白十字記章、袴が青色紺服に赤い紐の縫い取りが施されている。直前を通っても、横に並んでも微動だもしない。何組もが、この兵と並んで写真をとっていた。

バスに乗り込むと、赤松並木の登り坂を過ぎ、ギリシャ大学や、ギリシャ政府前を通過して、パルテノン神殿の裏の方へ着いた。

(以下次号へ)



初のホームカミングデー

家族つれなど、二〇〇人が参加

職員と母校との絆を深め、ワークを広げることを目的とする「中央大学ホームカミングデー」が、十一月十八日(日)紅葉映える多摩校舎で初めて開催された。

第一回は、卒業後二十五年目にあたる昭和四十五年卒と卒業五十年目にあたる昭和十五年以前の学員に案内状を郵送。約二〇〇人が参加した。

また、八号館の教室で行われた「二十世紀に向けて母校はどうあるべきか」のパネルディスカッションは、参加者の興味を抱かせ、いろいろな意見の最後に、高木総長の「中大を日本でナンバーワンの大学に発展させる」との決意を述べられ終結した。

司法試験六九名合格

司法試験の最終合格者が、十一月二日法務省から発表された。(カッコ内前年度)

- ①東京大 九九名(一〇九名)
 - ②早大 七〇名(九五名)
 - ③中央大 六九名(七四名)
 - ④京都大 五〇名(四三名)
 - ⑤慶応大 三八名(三五名)
- 合格者は、前年度より七名少なく四九九名。競争率は、四五倍強と相変らずの狭き門。平均年齢二八・六五歳。女性 は、史上最高七四名の合格。

昼間部志願者

過去最高の七万七千余名

今年度の昼間部の入学試験は、二月十三日の文学部から始まり、法学部法律学科、同政治学科、理工学部、商学部、経済学部の順に行われ、十九日に終了、三月一日から夜間部の入試が始り、四日をもって、全日程を終了した。

昼間部の入学志願者は、七万七千百十六人、昨年を一千九十九人上廻り、過去最高。なかでも、理工学部の伸びが著しかった。

全般的に、今年度は、女子の共学大学への進出が目立ち、従来から人気のあった文、外国語学部に限らず、社会科学系、理系でも女子占有率がアップしている大学が少くない。例として、母校中大の法学部

法律学科は、合格者に占める女子は、一五・八%(昨年一三・三%)を占めた。

今年も桐蔭学園がトップ

中央大学の91高校別合格者は、左記の通り。

- ①桐蔭学園(神奈川県) 一三六
 - ②厚木(神奈川県) 七九
 - ③国立(東京) 七二
 - ③川越(埼玉) 七二
 - ⑤海城(東京) 七一
- 尚、桐朋は、四〇人

CHUO SPORTS

第67回箱根駅伝

中大第三位に終わる

第67回箱根駅伝は、大東大が二連勝、通算四度目の優勝を飾った。

中大は、一一時間二六分三一秒で第三位。来年は、Vを狙える選手が揃うので、期待できる。ストップ・ザ・大東大は、どこの大学だろう。

- ①大東大 ②山梨学院大
- ③中大 ④日大 ⑤日体大

全日本相撲選手権

栗本剛君アマ横綱

十二月二日、両国国技館で開催された、第三十九回全日本相撲選手権において、栗本剛選手(文・二)は、決勝戦で、専大の戸田選手を破り、初優勝した。

本学からのアマ横綱は初。

年中行事

寄せ鍋からカラオケまで恒例の新年会を開催

新年より三度も気温が高く快晴の一月十九日(土)夕刻おなじみの割烹料理の店「信濃路」で、恒例の新年会が開かれた。お身体の具合が心配されていた村田会長もお元氣なお顔を見せられ、顧問の、谷市長、市橋先生もお忙しい中をご出席下さってお話を伺えたのもうれしかった。

谷市長は、市長の重責を三期の長きにわたり果され、このたび退官されるということで、在任中のご功績と、今後のご発展に、会員一同心からの拍手を送った。市橋先生は、女性初の学員会副会長という名誉あるお立場にたたれ、母校の発展にご尽力下さると力強く語られ、すばらしい女性先輩のあることを誇りに思った。

会は、青木健理事のスムーズな司会で終始和やかに進行し、村田会長のご挨拶、山崎副会長のお話につき、会員の近況報告を兼ねた自己紹介となった。お一人お一人の個性的なお話しに温かい拍手がわき、私は国立白門会の家庭的な雰囲気心地よくひたっていた。大きな寄せ鍋に舌鼓を打ちながら、お酒がすすんできた頃、カラオケが始まった。別れの会から駆け付けて下さった

た能味副会長から「今年も元気に仲よくやりましょう」と明るいご挨拶を頂戴し、一同から大きな歓声があがった。お酒もまわり、華やかに和やかに、歓談を楽しんでからやはり最後は、校歌と応援歌で、と、円陣を組んで、皆声たからかに歌い、楽しい一時の幕を閉じた。(平本・記)



忘年バーベキュー会

〈中央大学〉

教育・研究振興資金募金

ご協力をお願い

◇募金目標 100万円

◇1口 2万円

ご賛同いただける方は、募金趣意書他一式をお届けします。ので、ご連絡下さい。

- 村田 亘 ☎(75)2020
- 堀田 勲 ☎(76)0995

平成3年度 国立白門会予算案

自平成3年4月1日
至平成4年3月31日

科 目	摘 要	金 額	
収入の部	年会費	2,000×100名	200,000
	学会会交付金	15,000×2名	30,000
	総会会費	4,000×30名	120,000
	寄付	諸行事寄付 その他	120,000
	特別収入	市民祭参加バザー収入	50,000
	前期繰越		100,448
合 計		620,448	
支出の部	印刷費	白門会ニュース(年2回)	100,000
	通信費	会員連絡 他	80,000
	会議費	役員会 他	30,000
	総会費		240,000
	交際費	他支部総会祝金 他	50,000
	事務用品費		5,000
	親睦行事費	徴収会費不足分補助	40,000
	雑費		20,000
予備費		55,448	
合 計		620,448	

平成2年度 国立白門会決算書

自平成2年4月1日
至平成3年3月31日

収入の部			支出の部		
科 目	決算	予算	科 目	決算	予算
年会費	158,000	200,000	印刷費	86,520	100,000
学会会交付金	0	30,000	会議費	25,442	30,000
総会会費	90,000	90,000	通信費	81,365	80,000
寄付、祝金	115,000	120,000	総会費	230,573	200,000
親睦行事会費	243,000	0	交際費	25,000	80,000
特別収入	29,610	50,000	事務用品費	3,007	5,000
広告料収入	0	20,000	親睦行事費	239,552	40,000
雑収入	21,600	0	雑費	10,882	50,000
預金利息	911	0	予備費	0	69,668
前期繰越	144,668	144,668	次期繰越金	100,448	
合 計	802,789	654,668	合 計	802,789	654,668

会 計 高 橋 雅 幸 印

会計監査 宍 戸 勇 之 印

平成二年度活動報告

厚生部

- 一、親睦会 六月九日(土) 藤村のふるさと木曾路の旅 馬籠、妻籠宿を訪ねる
- 二、忘年会 十二月二十三日 (日) 多摩川畔にてバーベキューパーティとバザー開催
- 三、新年会 平成三年一月十九日(土) 割烹 信濃路にて

事業部

- 一、第十四回くにたちサクラフェスティバル四月九日(日) 参加予定も荒天の為、中止
- 二、第二十一回市民まつり参加の為、準備するも、雨天中止。

組織部

- 一、学員の把握
- 二、会員名簿の補充
- 三、学員活性化のための資料作成。

広報部

- 一、国立白門会ニュース第二十一号、第二十二号発行。
- 二、大学の行事、親睦会等の取材。
- 三、学員時報への投稿。

平成三年度活動予定

厚生部

- 一、春の親睦旅行
- 二、納涼会
- 三、第六回ゴルフコンペ
- 四、秋の親睦旅行
- 五、忘年会
- 六、囲碁大会

七、新年会

事業部

- 一、第十五回くにたちサクラフェスティバルに参加。バザー出店。(四月七日(日))
- 二、第二十二回市民まつりへ参加。法律、税務無料相談とバザー出店。
- 三、あれこれ考える会(時勢に合ったテーマを取り上げ討議)

組織部

- 一、組織の強化
- 二、会員名簿の補充
- 三、新加入会員を勧誘
- 四、会員の消息を追求

広報部

- 一、国立白門会ニュース第二十三号、第二十四号発行。
- 二、学院時報への投稿
- 三、通知、消息欄の拡充。



「第二十一回市民まつり」と「第十五回くにたちさくらフェスティバル」は、雨天のため参加を取り止めました。会員の皆様のご協力を感謝いたします。

国立市議に3名当選!

第十二回統一地方選で、国立白門会会員の 青木健さん 井上正博さん、風間健さんが国立市議に当選されました。今後のご活躍を期待します。

お 知 ら せ

(誕生)

◆新倉良平(副幹事長)夫人は二月二十七日長男を出産。健太郎と命名されました。

(新会員)

◆上田邦雄 (44・経)

〒186国立市富士見台二一
一三〇一―二四〇二
☎0425(72)4874
(勤務先)NTT東京電話帳

事業部

☎03(3740)9811

(移転)

◆柳井淳嘉(三遊亭竜楽)

〒131墨田区向島5の15の8
ミタニマンション105号
☎03(5608)8110
(電話番号変更)

◆玉利武人(関東薬品造園)

会社 ☎0425(22)4101
(勤務先訂正)

◆佐藤勝彦

勤務先/ジュネ

会費納入のお願い

年会費は白門会ニュースや名簿作成などの財源ですので、同封の郵便振替用紙で納入をお願いします。また、総会当日ご持参して下さい結構です。

年会費 2,000円